

授業科目名	赤 十 字 活 動 Ⅱ			担当教員	小川 里美、宇都宮 真由子	
開講年次	4 年前期	セメスター	7	時間数(単位数)	30 (1)	
必修選択	選択	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的	赤十字の理念に基づく活動を企画・実践し、社会における赤十字の活動意義・役割を考察する。					
到達目標	1. 赤十字活動の現状を把握し、課題を抽出できる。 2. 研修計画を作成できる。 3. 計画書に基づき、活動を実施できる。 4. 研修での学びをまとめ、報告・発表できる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	本科目は〈リベラルアーツ・専門基礎科目〉に位置づけられる。これまで学んできた赤十字関連科目、国際保健・看護関連科目を統合させ、赤十字の理念である「人道」の行動化と赤十字に期待される役割と課題、特に看護専門職としての役割を考える科目である。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
			◎	○		
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	研修の準備活動 1) コースガイダンス 2) 事前学習について	講義	(予習) 対象地域と活動の概要を調べる	120 分	小川 宇都宮	
2	研修対象地域ならびに赤十字を含むその他の活動に関する文献検索 (1)	演習 (GW)	(予習) 「歴史」「政治・経済」「文化」「災害」「保健医療」等について調べる	120 分	小川 宇都宮	
3	研修対象地域ならびに赤十字を含むその他の活動に関する文献検索 (2)	演習 (GW)	(予習) 「歴史」「政治・経済」「文化」「災害」「保健医療」等について調べる	120 分	小川 宇都宮	
4	現地調査の準備	演習 (GW)	(予習) 学習資料を読み込む	120 分	小川 宇都宮	
5	現地での研修 ・ 地区踏査 ・ 調査対象地域において想定される人道的危機を含む課題の抽出と整理 ・ 課題解決に向けた取り組みの検討 ・ 取り組みの実施・評価 ・ 今後への提案	演習 (AL)			小川 宇都宮	
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

13	研修のまとめ	演習 (GW)	(復習) フィールドノートの整理・発表資料の準備	180 分	小川 宇都宮
14	研修成果の発表、フィードバック、 まとめ	演習 (発表)	文献を活用し、課題レポートをまとめる	180 分	小川 宇都宮
15					
先行履修 科目					
テキスト		適宜、資料を配布する。			
参考文献		「赤十字活動Ⅰ」「国際保健・看護Ⅰ」に挙げている文献には必ず目を通す。対象地域に関連する文献を読む。			
評価方法		事前学習 30% 研修への参加度（発表を含む）30% レポート 40%			
教員等の 実務経験		国内外において、赤十字の救援活動に従事していた教員が、講義・演習を担当します。			
メッセージ		本科目は、国際看護コースを選択していることが望ましいです。 また、本科目を履修するためには、「国際保健・看護Ⅱ、Ⅲ」を単位修得していることが望ましいです。 赤十字の使命を実現するためには、赤十字のみならず他の機関との調整・協働が不可欠です。 本科目では、フィールドワークを通してそれらについて学びます。			